

■ 工場の概要 (2009年3月末現在)

所在地	埼玉県北本市朝日4-410など
土地面積	143,438m ²
建物面積	92,061m ²
従業員数	551人
主な生産品目	ロビンエンジン、エンジン発電機など



地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

■ 地域行事への積極的な参加

2008年11月1日、恒例の北本宵まつりに従業員とその家族290名が参加し、地域にお住まいの方々と一緒にねぶた曳きなどを楽しみました。北本宵まつりとは、埼玉県北本市主催のお祭りで、ねぶた、囃子山車などが北本市の駅前通りを練り歩くもので、この日は24台の山車が参加して地域を盛り上げました。埼玉製作所も毎年行列に参加しており、年々参加者が増加しています。

宵まつり翌日の産業祭には、ロビンエンジンを搭載した



11月 北本宵まつりでねぶた曳きに参加する従業員とその家族

製品や、充電式草刈機の展示を行っています。展示の際は、市民の方々に当製作所製品に親しみを持っていただくため、直接触れていただく工夫をこらした展示を行っています。

■ 環境教育型工場見学の受け入れ

埼玉製作所では、従来の生産工程を中心とした工場見学に加え、所内での環境保護の取り組みを盛り込んだ、小・中学生向け『環境教育型工場見学』を2008年4月から実施しています。これは、工場内のエネルギー、排水、ごみ処理など、埼玉製作所での環境への取り組みを紹介するもので、小学生でもわかりやすい資料づくり、事前見学会の実施を経て現在の形にしてきました。すでに数十回実施しており、参加者からの評判は良好です。今後もさらなる工夫を重ねてよりよい見学内容にしていきたいと考えています。



環境教育型工場見学のようす

■ エコライフDAY2008の展開

2008年6月には、環境月間に合わせてエコライフDAY2008(埼玉県主催のCO₂削減活動)を展開し、従業員1,224名が参加しました。各自、家庭内におけるCO₂排出量の削減に積極的に取り組みました。

教育・啓発活動など

■ あったか子育て支援

埼玉県や北本市主催の、次世代育成計画推進会議、子育て支援セミナーなどへ積極的に参加することで、地域社会の子育て支援活動を進めてきました。

2008年11月の『埼玉県あったか子育て企業賞』受賞を機に、行政主催の男女共同参画および、子育てセミナーパネリスト依頼、女性活性化研修の講師依頼があり、埼玉製作所における子育て支援活動の実績を報告しています。

また、埼玉製作所では、毎年2回埼玉県から講師を招き、『お父さん応援講座』を開いて、子育てにおける父親の接し方の勉強も行っています。

■ 消火訓練実施

2008年11月埼玉製作所自衛消防隊の消火器・消火栓隊35名が参加し、北本消防署東分署の指導のもと、消火器の取り扱い訓練を実施しました。訓練の内容としては、初期消火への対応として、実際に火を燃やして、粉末消火器、水消火器を使った消火作業を実施しました。また、建物に設置されている消火栓設備の点検を兼ねた消火栓による放水訓練を毎月1ヶ所ずつ実施しています。消火栓の作動点検と万一来火に備えた実地放水訓練を今後も引き続き実施していきます。



埼玉県あったか子育て企業賞受賞時の賞状とトロフィー

■ 産業機器カンパニーの主な製品

ロビンエンジン EH72FI

ポータブルインバータ発電機

充電式草刈機



環境保全の取り組み

産業機器カンパニーの環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、産業機器カンパニーでは環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

一産業機器カンパニー環境方針一 [2005年5月改定]

当カンパニーはエンジンおよび応用製品に対し、開発から廃棄にいたるまでのすべての活動において、地球環境保全を積極的に推進し、豊かな未来の実現を目指します。

- (1) 開発、設計から物流、廃棄段階における環境負荷の低減を図ります。
- (2) 関連する法規制、地域協定、業界規範を順守するとともに、環境保全への目的・目標を定めて自主的な活動を図ります。
- (3) 「継続的な改善と汚染の防止」が重要であることを認識し、一人ひとりが自覚と責任を持って行動します。
- (4) 環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動のさらなる向上を図ります。
- (6) 地域社会との交流を図り、環境保護活動に積極的に協力します。

2008年度の主な環境活動実績

■ 地球温暖化防止活動

2008年度のCO₂排出量は、1990年度と比較して41%の低減となっています。2007年度との比較では1,884ton-CO₂削減されました。2009年度は高効率照明、高効率変圧器への更新、エアリーク防止対策を主体に省エネ対応を進めていきます。

■ 廃棄物削減活動

2007年度に導入した研磨くずを固化して有償化する「研磨くず処理装置」の稼働が定着し、研磨くず廃棄物は2007年度に対し54トン削減されました。ただし、旧設備の廃却による廃液量が大幅に増加したため、廃棄物総量では2007年度に対し18トンの削減となり、固化分の効果が相殺された結果となりました。2009年度は洗浄液の寿命延長などで、廃液処理量の削減を進め廃棄物発生量の抑制を進めます。

■ 公害防止活動

環境事故ならびに苦情は2007年に引き続きゼロ件を継続できました。自主基準超過については、2008年度はゼロ件になりました(2007年度3件)。さらに、騒音については、2007年度に一部法規制値超過がありましたが、改善を加えた結果、2008年度はすべてのエリアで法規制値をクリアすることができました。2009年度以降も事故、苦情、自主基準超過ゼロを目標に日々の管理の徹底を図っていきます。

環境監査結果

■ 環境マネジメントシステムに基づく内部監査結果

2008年9月26日～10月16日にかけて、18部門で内部監査を実施しました。結果は不適合ゼロ、推奨項目24件となりましたが、すべて対策を完了しました。

■ ISO14001外部審査結果

2009年2月19日～20日にかけて、ISO14001サーベランス審査を受審しました。結果は、軽微な不適合1件、推奨項目20件を受けましたが、直ちに是正処置を実施したことにより、ISO14001認証の継続が認められました。



ISO14001外部審査の様子

環境データ

■ CO₂排出量

(単位:ton-CO₂)

項目	2008年度実績
CO ₂ 排出量	6,835
1990年度を100とした場合の指数	59.0

電力および化石燃料(重油、軽油、灯油、ガソリン、都市ガス、LPG)の合計使用量を換算しています。
CO₂換算係数の出典:社団法人日本自動車工業会
(個別に把握した換算係数を使用している場合があります)

■ 廃棄物・金属くず関連

(単位:ton)

項目	2008年度実績
金属くず	894
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物	291
直接埋立	0
外部中間処理後埋立	0



■ 東京事業所の概要(2009年3月末現在)

所在地	東京都三鷹市大沢3-9-6
土地面積	156,747m ²
建物面積	69,210m ²
従業員数	1,004人
主な事業内容	自動車用エンジン、トランスミッションの研究開発・実験、スバル製品の研究

地域社会とのかかわり

東京事業所では、社会の一員として地域や社会との共生を通して、豊かな社会づくりに貢献していくことを目指し、事業所見学を通じた小学生対象社会科授業の

お手伝い、地域とのふれあい行事、交通安全教室の開催などを積極的に行っています。ここでは2008年度の主な活動をご紹介します。



8月 従業員の家族や近隣にお住まいの方も招待し、約2,000名を集めて納涼祭を開催



毎月1回 スバル寮生が20名ずつ交代で周辺地域の清掃活動を行っています



12月 三鷹警察署交通課課長を講師に招き、550名が参加した安全運転講習会



9月 三鷹警察署より白バイ隊の方を指導員に迎え、二輪車安全教室を実施



10月 近隣の5つの小学校の児童(475名)を招いて開催した事業所見学会



10~11月 小学校5年生の社会科授業支援として、近隣の3つの小学校で出張授業を実施

*この他に、近隣の小学生200名を招いて当社硬式野球部による「野球教室」を開催したり、当社施設(体育館や寮の大浴場)を一般の方向けに開放するなど、地域とのふれあいを大切に、積極的な活動をしています。

環境保全の取り組み

東京事業所の環境方針



当社企業理念および全社環境方針を受け、東京事業所では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

—東京事業所 環境方針— [2003年9月制定]

富士重工業株式会社東京事業所は、豊かな自然を守り次世代に引き継ぐため、環境にやさしい「クルマづくり」を目指し、「クリーンなパワーユニット」を提供します。

環境方針を実現するための運営基準を次のように定める。

- (1)自動車部門における環境への影響を考慮して、積極的な環境保全に努めます。
- (2)関連する法規制・地域協定・業界規範を順守するとともに、環境上の目的・目標を定めて自主的な活動に取り組みます。
- (3)「継続的な改善と汚染の未然防止」が重要であることを認識し、一人ひとりが自覚と責任を持って行動します。
- (4)環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5)計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動のさらなる向上を図ります。
- (6)社会の一員として、地域や社会との交流を図るとともに、環境保全活動に積極的に協力します。

2008年度の主な環境活動実績

■ 地球温暖化防止活動

昨年度の700トン増加をふまえて、2008年度は公害特定施設の管理強化や、重油ボイラーから天然ガスボイラーへと熱源設備を更新するなどの対策を計画的に実施し、NOx、SOx排出低減などに着実に効果を発揮しました。そうした地道な努力の結果、今年度のCO₂排出量は前年度比約1,042トン減少しました。1990年度比では約25%の低減となっています。今後も実験設備の高稼働が予想されるため、高稼働を前提とした省エネ施策を進めていきます。

■ 廃棄物削減活動

廃棄物の発生量については、金属くずが前年度と比べ8トン減少しましたが、総発生量としては、41トン増加しました。これは、建物建て替えの際に、旧建屋解体に伴う長期保管物が想定以上に多量廃棄されたためです。今年度以降も、廃棄物発生量の削減を目指して取り組んでいきます。

■ 公害防止活動

2008年度には、油脂類の流出による構内環境事故が3件*発生しました。いずれも適切な是正処置を行い管理しています。なお、近隣にお住まいの方から騒音に関する苦情を1件受け、すみやかに是正処置を実施しました。今後は、基準値超過・苦情・環境事故すべてゼロを目標に環境リスクアセスメントの実施などを進めていきます。

*環境事故の詳細につきましては、46ページをご参照ください。

環境データ

■ CO₂排出量

(単位:ton-CO₂)

項目	2008年度実績
CO ₂ 排出量	14,129
1990年度を100とした場合の指数	75.1

電力および化石燃料(重油、軽油、灯油、ガソリン、都市ガス、LPG)の合計使用量を換算しています。
CO₂換算係数の出典:社団法人日本自動車工業会
(個別に把握した換算係数を使用している場合があります)

環境監査結果

■ 環境マネジメントシステムに基づく内部監査結果

2008年10月14日～11月6日の間に、事業所内全部署(23区分)を対象に内部環境監査を実施しました。その結果、不適合3件、観察項目51件が摘出されました。不適合については是正処置を行い、その効果の確認までを実施しました。内部監査を通して、各部署における「システムの欠如や機能不全」「法規制違反」などの重大な欠陥は確認されず、事業所全体のEMSは概ね良好に運用されていることが確認できました。また、今年度は、新たに20名の内部監査員を養成し、フレッシュな視点で内部監査を実施しました。

■ ISO14001外部審査結果

2008年12月15日～17日に、ISO14001サーベランス審査を受審しましたが、前回審査の不適合事項に対する修正および是正処置が認められ、不適合事項の指摘はありませんでした。改善推奨事項は27件の結果となり、ISO14001の認証継続が確認されました。特に、2007年度から開始した「第4次ボランティアプラン(環境保全自主取り組み計画)」において着実な改善が進んでいることや、内部監査において新たに20名の監査員が加わりの射た指摘がされていることが高く評価されました。今後も内容のレベルアップに取り組んでいきます。

■ 廃棄物・金属くず関連

(単位:ton)

項目	2008年度実績
金属くず	145
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物	326
直接埋立	0
外部中間処理後埋立	0

■ 本社の概要(2009年3月末現在)

	新宿サイト	大宮サイト
所在地	東京都新宿区西新宿1-7-2	埼玉県さいたま市北区宮原町1-1-2
土地面積	1,600m ²	54,896m ²
建物面積	7,254m ²	4,255m ²
従業員数	586人	39人
主な事業内容	スバル製品の企画、マーケティングおよび販売ならびにコーポレート部門	



社内コミュニケーション

本社はスバルの商品企画、マーケティング、販売およびコーポレート部門などから構成される複合組織です。そのため、日ごろから社内コミュニケーションを重視し

ています。ここでは2008年度の活動の一部をご紹介します。



4月 新宿サイトISO14001
2008年度キックオフ式



6月 マネジメントレビュー報告会
環境保全統括者の説明を熱心に聴くEMS推進委員



9月 新任内部監査員に向けて、教育研修が行われました



10月 内部監査委員任命式



12月 外部監査説明会が新宿で行われました



2009年2月 第五回業務改善事例発表会
毎年行い、優秀事例の水平展開を実施しています

環境保全の取り組み

本社(新宿サイト・大宮サイト)の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、本社(新宿サイト・大宮サイト)では環境方針を策定し、環境保全活

動に積極的に取り組んでいます。

2007年6月5日に、「社会的責任を全うする企業」の達成に向け、CSRへの取り組みを織り込んだ環境方針に改定しました。

—新宿サイト・大宮サイト 環境方針— [2003年7月制定]—[2007年6月5日改定]

常に環境と事業活動の深い関わりを認識し、地球と社会と人にやさしい商品と環境づくりに努め、豊かな未来の実現を目指します。

- (1) 新宿サイトにおける、商品の企画・開発・設計・製造・販売・サービス・廃車など、各段階に関わる事業活動において、CSR(企業の社会的責任)や環境影響を考慮した企業活動に努めます。
- (2) CSR活動および環境保全活動を推進するため、関連する法規制・地域協定・業界規範を順守するとともに、目的・目標を定めて自主的な活動に取り組みます。
- (3) 事業活動における継続的な改善と汚染防止の重要性を認識し、一人ひとりが自覚と責任を持って行動します。
- (4) CSR活動および環境保全活動の推進を図るため、階層・職種に応じた教育を実施し、一人ひとりの意識向上を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動のさらなる向上を図ります。
- (6) 企業市民として、地域や社会との交流を図るとともに、社会を取り巻くさまざまな課題に対して、事業活動を主体としたCSR活動および環境保護活動に積極的に協力します。

※1 「本社」とは、スバル製品の企画、マーケティングおよび販売ならびにコーポレート部門を行う新宿サイトと、スバルパーツ製品のマーケティングおよび販売、ならびにスバルITシステムの開発および構築を行う大宮サイトを範囲としたISO14001環境マネジメントシステムの外部審査適用範囲の総称です。



本社(新宿・大宮サイト)環境方針

2008年度の主な環境活動実績

■ 地球温暖化防止活動

2008年度のCO₂の排出量は、約465ton-CO₂となり、2007年度と比べて9%の削減ができました。これは、従業員一人ひとりにこまめな省エネ活動が浸透したこと、経費節減の一環で、出張や車両デモ活動の見直しを進めたことなどによるものです。

■ 廃棄物削減活動

2008年度は、本来業務の改善や削減プロセスを計画して発生抑制を強化したり、リサイクル用紙の分別廃棄などの取り組みの結果、PPC用紙排出量は27.4トンとなり、2007年度比約6%の低減が図れました。100%リサイクルも継続しています。

また、一般可燃物・雑芥などの排出量は18.2トンとなり、2007年度の17.7トンに対し、約3%の増加となりました。ただし、厨芥・茶殻の排出量は7.4トンから5.9トンへ減少しています。これは、厨芥・茶殻の分別廃棄方法を変更したためで、厨芥排出物のうち65%をリサイクルしています。

今後は、さらにリサイクル率を高め、排出量全体としても、年1%以上の低減に取り組んでいきます。

■ 環境関連法規制違反、行政指導、苦情などについて

該当事項はありませんでした。

環境監査結果

■ 環境マネジメントシステムに基づく内部監査の結果

2008年10月14日～11月5日の期間に、本社地区全部門を33部署に区分して、各部署より選任された32名の監査員により、内部監査を実施しました。

今回は、監査員の自主性を引き出し、より有効な監査実施を狙いとして、監査員独自の監査確認事項を準備して行いました。

結果、2007年度の指摘件数44件から、2008年度

の指摘件数56件と積極的な指摘ができ、有意義な監査を実施することができました。

また、不適合件数については1件摘出され、すみやかに是正処置を行いました。その後、効果の確認・地区内の水平展開を図り、全体のレベルアップを図っています。



ISO14001外部監査のようす 大宮サイト(左)新宿サイト(右)

■ ISO14001外部審査結果

2008年12月17日～19日、ISO14001継続審査を受審し、9件の推奨事項などを受けましたが、不適合は「ゼロ」で、ISO14001の認証継続が確認されました。パソコンの活用など、環境教育のためのインフラが行き届いていること、本来業務に環境を組み入れて対応することが各部に浸透し、業務見直しによる効率化への取り組みが高く評価されました。

■ 2009年度EMS活動予定

東京都八王子市にある研修施設「スバルアカデミー」も2009年度から本社のEMS活動の範囲に加わる予定です。